

## 訪問看護の提供体制に関する現状調査報告

目的: 愛知県内の訪問看護ステーションから得られた訪問看護提供体制に関する情報を基に課題を明らかにす

対象: 訪問看護ステーション管理者948名

調査期間: 令和4年7月19日～令和4年8月20日

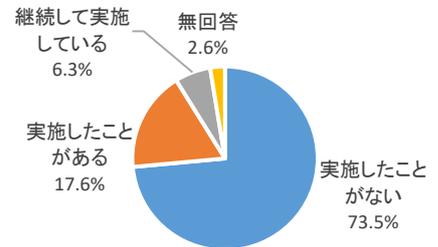
方法: アンケート調査、郵送

アンケート項目は「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価ガイドライン第2版」の42項目を使用  
 評価方法: 各項目の評価は3段階評価とし、「1.一定の水準に達していない、2.一定の水準に達している、3.適切に行われている」とした。

回収率: 27.8% (272/948)

### I. 「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン」を活用した事業所評価の実施について

	回答数	割合
実施したことがない	200	73.5%
実施したことがある	48	17.6%
継続して実施している	17	6.3%
無回答	7	2.6%
合計	272	100%



### II. 実施したことがない方にお伺いします。その理由を選択して下さい。(複数回答可) ⇒ 回答後、設問Vへ

	回答数	割合
時間がない	82	41.0%
必要性を感じない	5	2.5%
上記のガイドラインがあることを知らない	107	53.5%
他の評価を利用している*	13	6.5%
その他*	16	8.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	200	



<他の評価>

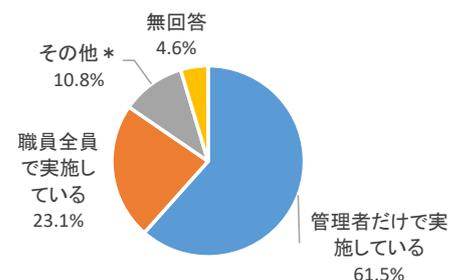
- ・ 自社独自のもの(5)・ISO・情報開示受審・他事業所ガイドライン参照

<その他>

- ・ 使い方が良く分からない
- ・ 必須の事項でないため、目的・効果について理解していない
- ・ 評価をして改善するまでのマンパワーがない
- ・ 開所間もないため(6)
- ・ スタッフへの説明や法人への理解が得られていない
- ・ 評価するほど整備できていない
- ・ 今後実施を考えている(2)
- ・ やらうと思いやっていない
- ・ ガイドラインを知っているが活用方法に結びつか曖昧

### III. 実施した方、継続して実施している方にお伺いします。実施状況について該当するものを選択して下さい。

	回答数	割合
管理者だけで実施している	40	61.5%
職員全員で実施している	15	23.1%
その他*	7	10.8%
無回答	3	4.6%
合計	65	100.0%

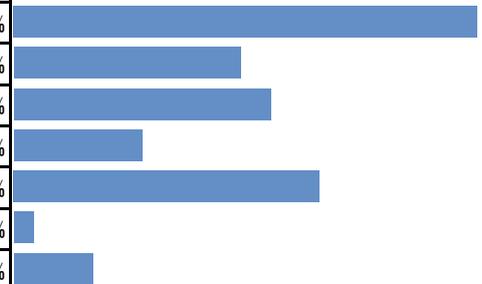


<その他>

- ・ 担当者を決めている
- ・ 以前勤務していたステーションで1度経験した
- ・ 個人的に
- ・ 一部スタッフと共有
- ・ 職員一部
- ・ 管理者と仲間 管理者(主任2名)

IV. 実施した方、継続して実施している方にお伺いします。実施の理由を選択して下さい。(複数回答可)

	回答数	割合
訪問看護の質向上	47	72.3%
スタッフの育成	23	35.4%
組織運営の改善	26	40.0%
経営の改善	13	20.0%
サービスの可視化	31	47.7%
その他*	2	3.1%
無回答	8	12.3%
回答対象者数	65	



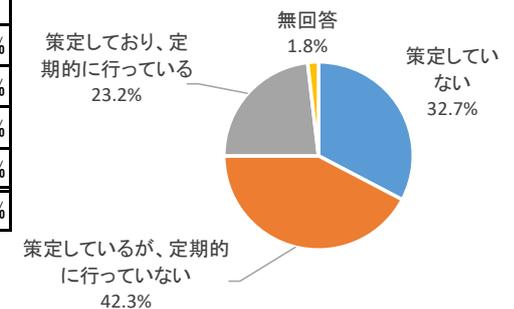
<その他>

- ・ 介護保険の情報公表の項目にあったため
- ・ 確認
- ・ 客観的に評価できるのではと考えて

V. 以下の42評価項目において、該当するものを①～③から選択して下さい。

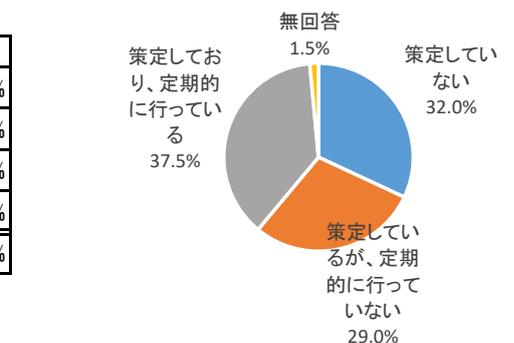
1. 理念・基本方針の実現に向けた中・長期事業計画の策定と定期的な評価について

	回答数	割合
策定していない	89	32.7%
策定しているが、定期的に行っていない	115	42.3%
策定しており、定期的に行っている	63	23.2%
無回答	5	1.8%
合計	272	100%



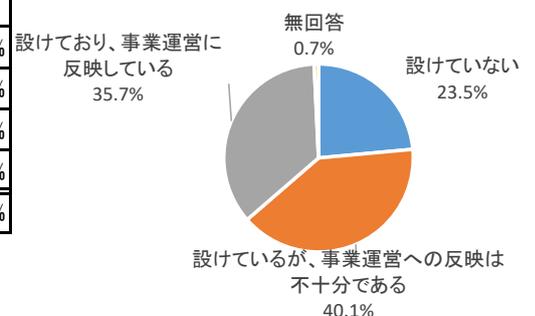
2. 単年度の事業計画の策定と定期的な評価について

	回答数	割合
策定していない	87	32.0%
策定しているが、定期的に行っていない	79	29.0%
策定しており、定期的に行っている	102	37.5%
無回答	4	1.5%
合計	272	100%



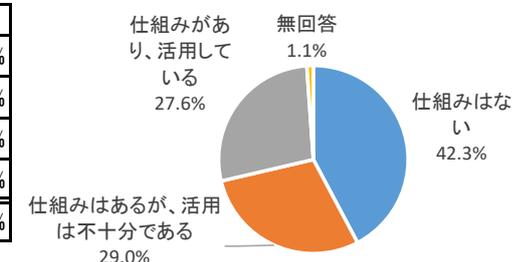
3. 事業所の運営について定期的に職員と議論する機会の設定と事業運営改善への反映について

	回答数	割合
設けていない	64	23.5%
設けているが、事業運営への反映は不十分である	109	40.1%
設けており、事業運営に反映している	97	35.7%
無回答	2	0.7%
合計	272	100%



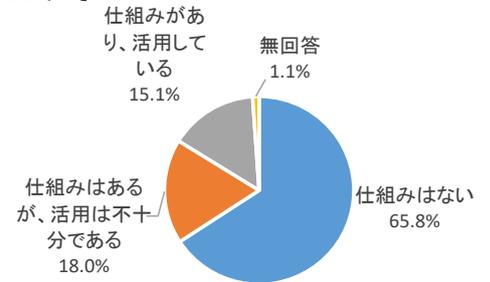
4. 利用者・家族の評価を受ける仕組みと事業計画の見直しやサービスの改善への活用について

	回答数	割合
仕組みはない	115	42.3%
仕組みはあるが、活用は不十分である	79	29.0%
仕組みがあり、活用している	75	27.6%
無回答	3	1.1%
合計	272	100%



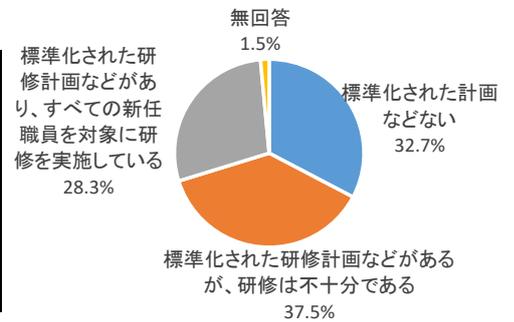
### 5. 外部評価を受ける仕組みと事業計画の見直しやサービスの改善への活用について

	回答数	割合
仕組みはない	179	65.8%
仕組みはあるが、活用は不十分である	49	18.0%
仕組みがあり、活用している	41	15.1%
無回答	3	1.1%
合計	272	100%



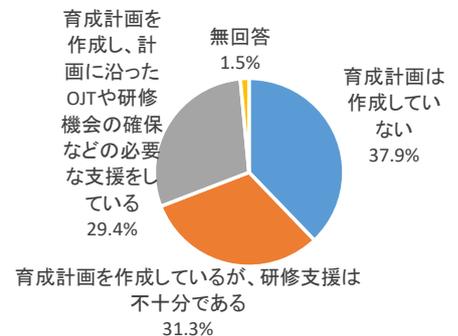
### 6. 新任職員向けの研修計画などの整備や実施について

	回答数	割合
標準化された計画などない	89	32.7%
標準化された研修計画などがあるが、研修は不十分である	102	37.5%
標準化された研修計画などがあり、すべての新任職員を対象に研修を実施している	77	28.3%
無回答	4	1.5%
合計	272	100%



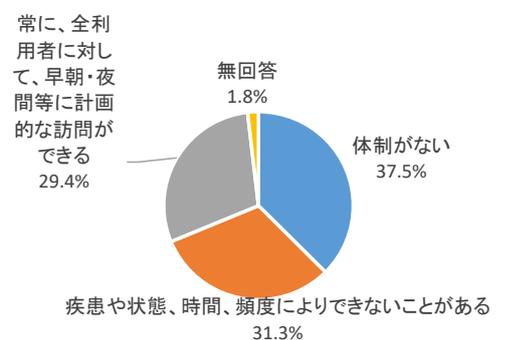
### 7. 職員本人の意向を反映した育成計画と研修を受ける機会の確保について

	回答数	割合
育成計画は作成していない	103	37.9%
育成計画を作成しているが、研修支援は不十分である	85	31.3%
育成計画を作成し、計画に沿ったOJTや研修機会の確保などの必要な支援をしている	80	29.4%
無回答	4	1.5%
合計	272	100%



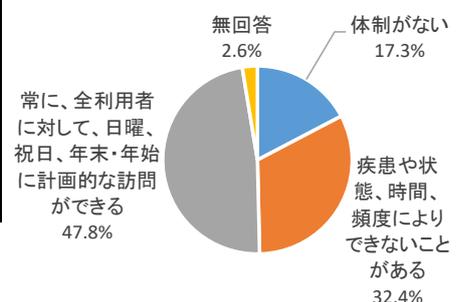
### 8. 早朝・夜間の計画的な訪問体制について

	回答数	割合
体制がない	102	37.5%
疾患や状態、時間、頻度によりできないことがある	85	31.3%
常に、全利用者に対して、早朝・夜間等に計画的な訪問ができる	80	29.4%
無回答	5	1.8%
合計	272	100%



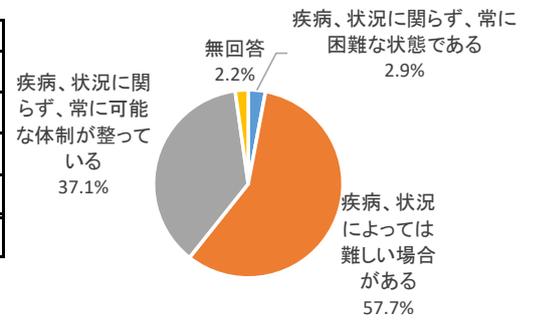
### 9. 日曜、祝日、年末・年始の計画的な訪問体制について

	回答数	割合
体制がない	47	17.3%
疾患や状態、時間、頻度によりできないことがある	88	32.4%
常に、全利用者に対して、日曜、祝日、年末・年始に計画的な訪問ができる	130	47.8%
無回答	7	2.6%
合計	272	100%



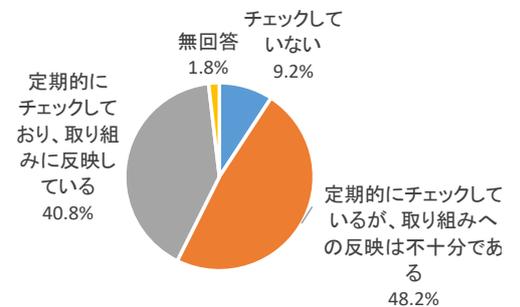
### 10. 新規の依頼の即日の対応もしくは訪問などの体制について

	回答数	割合
疾病、状況に関らず、常に困難な状態である	8	2.9%
疾病、状況によっては難しい場合がある	157	57.7%
疾病、状況に関らず、常に可能な体制が整っている	101	37.1%
無回答	6	2.2%
合計	272	100%



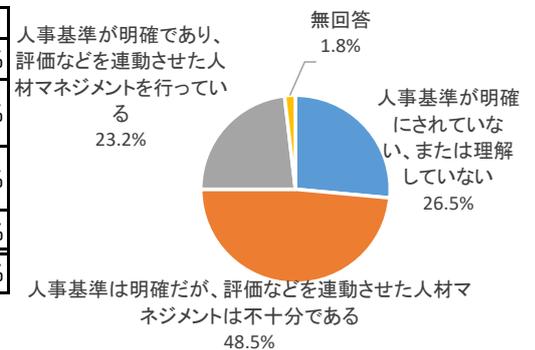
### 11. 財務状況のチェックと経営の安定化に向けた具体的な取組みについて

	回答数	割合
チェックしていない	25	9.2%
定期的にチェックしているが、取り組みへの反映は不十分である	131	48.2%
定期的にチェックしており、取り組みに反映している	111	40.8%
無回答	5	1.8%
合計	272	100%



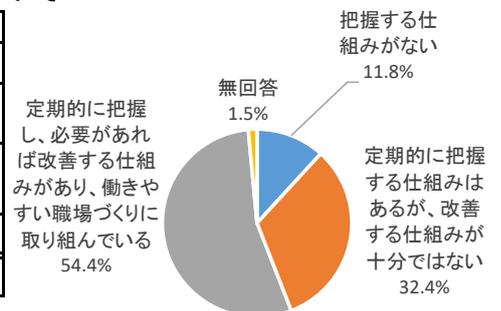
### 12. 人事基準・評価などを連動させた人材マネジメントについて

	回答数	割合
人事基準が明確にされていない、または理解していない	72	26.5%
人事基準は明確だが、評価などを連動させた人材マネジメントは不十分である	132	48.5%
人事基準が明確であり、評価などを連動させた人材マネジメントを行っている	63	23.2%
無回答	5	1.8%
合計	272	100%



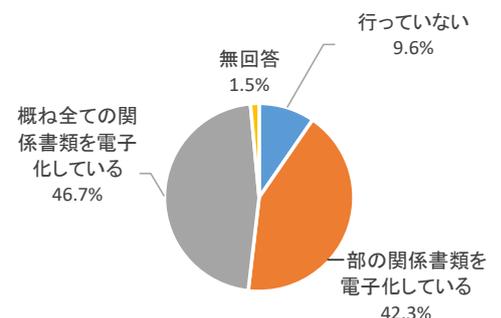
### 13. 職員の就業状況や意向を把握した働きやすい職場づくりへの取組みについて

	回答数	割合
把握する仕組みがない	32	11.8%
定期的に把握する仕組みはあるが、改善する仕組みが十分ではない	88	32.4%
定期的に把握し、必要があれば改善する仕組みがあり、働きやすい職場づくりに取り組んでいる	148	54.4%
無回答	4	1.5%
合計	272	100%



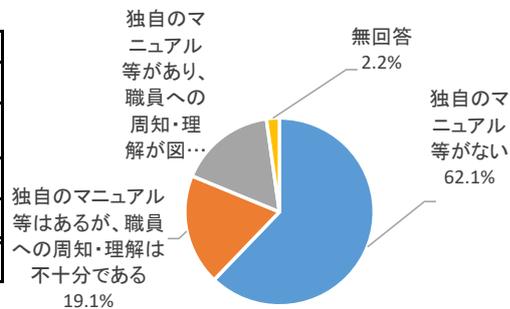
### 14. 業務の効率化のための記録等関係書類の電子化について

	回答数	割合
行っていない	26	9.6%
一部の関係書類を電子化している	115	42.3%
概ね全ての関係書類を電子化している	127	46.7%
無回答	4	1.5%
合計	272	100%



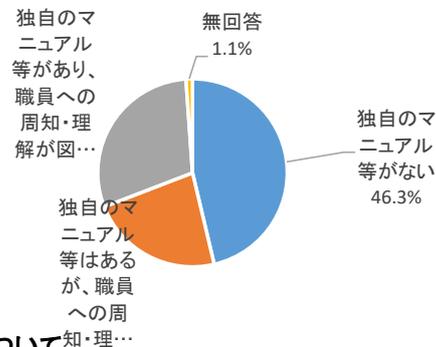
15. 人工呼吸器の利用者への事業所独自のマニュアル作成について

	回答数	割合
独自のマニュアル等がない	169	62.1%
独自のマニュアル等はあるが、職員への周知・理解は不十分である	52	19.1%
独自のマニュアル等があり、職員への周知・理解が図られている	45	16.5%
無回答	6	2.2%
合計	272	100%



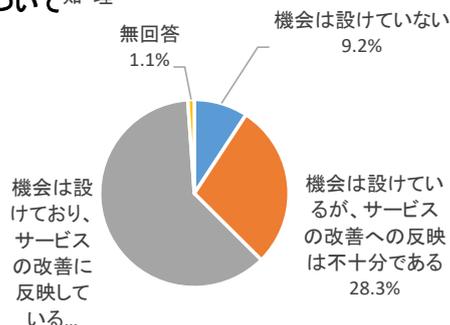
16. 終末期ケアの事業所独自のマニュアル作成について

	回答数	割合
独自のマニュアル等がない	126	46.3%
独自のマニュアル等はあるが、職員への周知・理解は不十分である	62	22.8%
独自のマニュアル等があり、職員への周知・理解が図られている	81	29.8%
無回答	3	1.1%
合計	272	100%



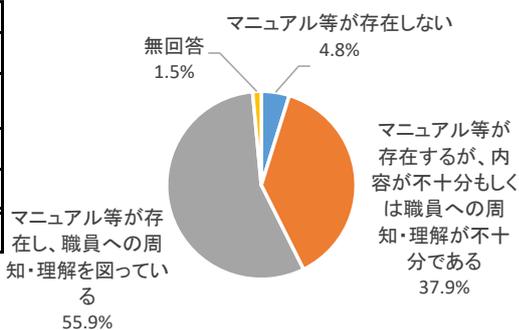
17. 定期的なカンファレンス・事例検討を実施する機会の設置とサービスの改善について

	回答数	割合
機会は設けていない	25	9.2%
機会は設けているが、サービスの改善への反映は不十分である	77	28.3%
機会は設けており、サービスの改善に反映している	167	61.4%
無回答	3	1.1%
合計	272	100%



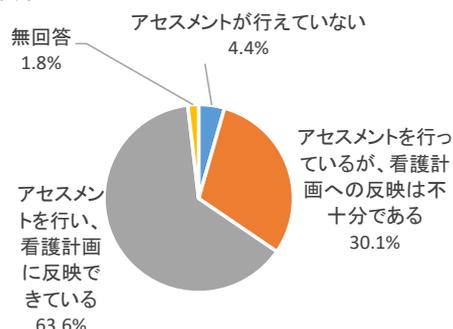
18. 事故の対応マニュアル作成および職員への周知について

	回答数	割合
マニュアル等が存在しない	13	4.8%
マニュアル等が存在するが、内容が不十分もしくは職員への周知・理解が不十分である	103	37.9%
マニュアル等が存在し、職員への周知・理解を図っている	152	55.9%
無回答	4	1.5%
合計	272	100%



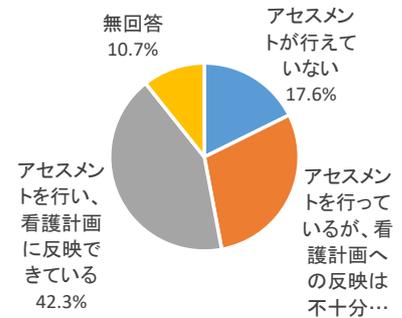
19. 利用者等の生活全体に着目した包括的なアセスメントの実施と看護計画への反映について

	回答数	割合
アセスメントが行えていない	12	4.4%
アセスメントを行っているが、看護計画への反映は不十分である	82	30.1%
アセスメントを行い、看護計画に反映できている	173	63.6%
無回答	5	1.8%
合計	272	100%



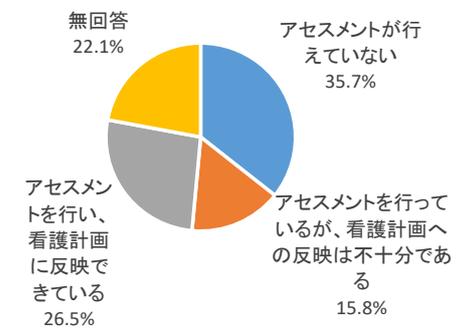
20. 精神疾患のある利用者の包括的なアセスメントの実施と看護計画への反映について

	回答数	割合
アセスメントが行えていない	48	17.6%
アセスメントを行っているが、看護計画への反映は不十分である	80	29.4%
アセスメントを行い、看護計画に反映できている	115	42.3%
無回答	29	10.7%
合計	272	100%



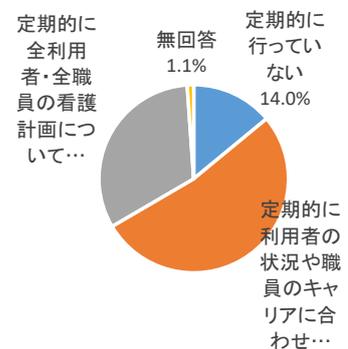
21. 小児の利用者の包括的なアセスメントの実施と看護計画への反映について

	回答数	割合
アセスメントが行えていない	97	35.7%
アセスメントを行っているが、看護計画への反映は不十分である	43	15.8%
アセスメントを行い、看護計画に反映できている	72	26.5%
無回答	60	22.1%
合計	272	100%



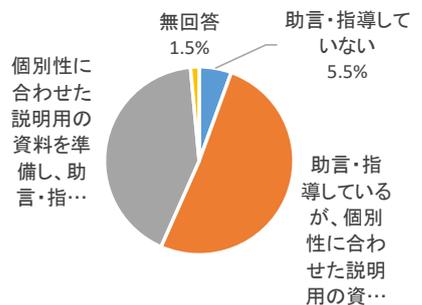
22. 看護計画について管理者・リーダー等からの定期的な内容の確認やアドバイス等について

	回答数	割合
定期的に行っていない	38	14.0%
定期的にご利用者の状況や職員のキャリアに合わせ行っている	143	52.6%
定期的にご利用者・全職員の看護計画について行っている	88	32.4%
無回答	3	1.1%
合計	272	100%



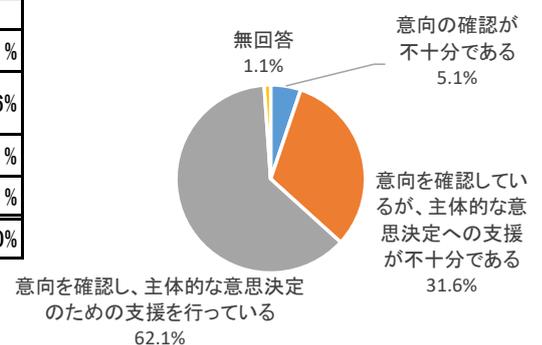
23. 利用者等が行う医療的ケアの個別性に合わせた助言・指導について

	回答数	割合
助言・指導していない	15	5.5%
助言・指導しているが、個別性に合わせた説明用の資料を用いていない	139	51.1%
個別性に合わせた説明用の資料を準備し、助言・指導している	114	41.9%
無回答	4	1.5%
合計	272	100%



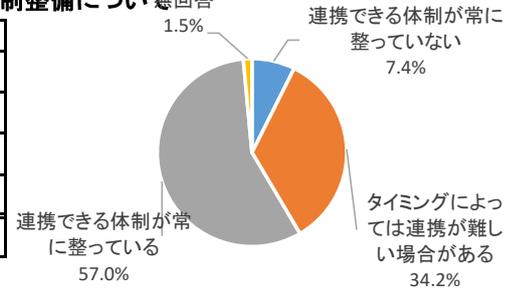
24. 利用者が在宅生活や急変時の対応等について、主体的に意思決定できるような利用者や家族等の意向を踏まえた支援!

	回答数	割合
意向の確認が不十分である	14	5.1%
意向を確認しているが、主体的な意思決定への支援が不十分である	86	31.6%
意向を確認し、主体的な意思決定のための支援を行っている	169	62.1%
無回答	3	1.1%
合計	272	100%



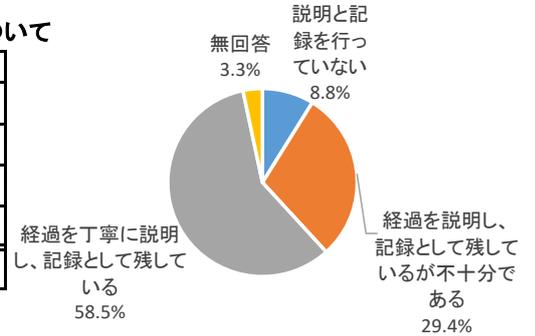
25. 利用者等の希望に応じた看取りを実現するための医師や多職種との体制整備について

	回答数	割合
連携できる体制が常に整っていない	20	7.4%
タイミングによっては連携が難しい場合がある	93	34.2%
連携できる体制が常に整っている	155	57.0%
無回答	4	1.5%
合計	272	100%



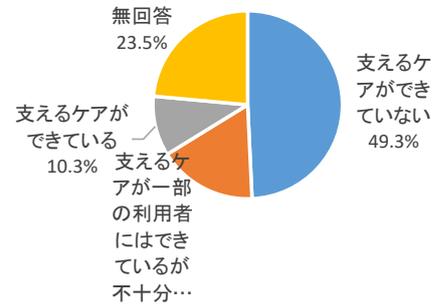
26. 終末期ケアが必要な利用者の予後および死までの経過説明と記録について

	回答数	割合
説明と記録を行っていない	24	8.8%
経過を説明し、記録として残しているが不十分である	80	29.4%
経過を丁寧に説明し、記録として残している	159	58.5%
無回答	9	3.3%
合計	272	100%



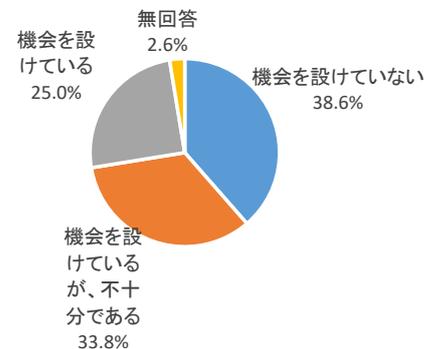
27. 重症心身障がい児や小児がんの利用者の看取りまでを支えるケアについて

	回答数	割合
支えるケアができていない	134	49.3%
支えるケアが一部の利用者にはできているが不十分である	46	16.9%
支えるケアができている	28	10.3%
無回答	64	23.5%
合計	272	100%



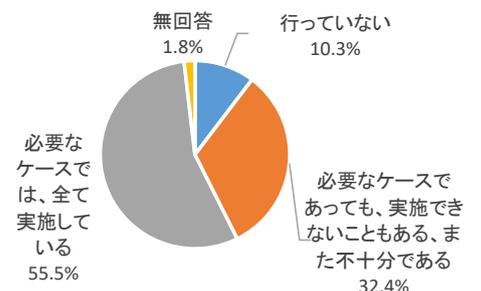
28. 利用者の死後、デスカンファレンス等を行い、提供したサービスや判断の妥当性等を振り返る機会について

	回答数	割合
機会を設けていない	105	38.6%
機会を設けているが、不十分である	92	33.8%
機会を設けている	68	25.0%
無回答	7	2.6%
合計	272	100%



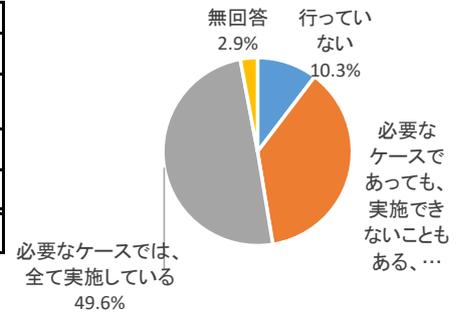
29. 「褥瘡のある利用者」の多職種・多機関との連携や、情報共有・相談・協力要請について

	回答数	割合
行っていない	28	10.3%
必要なケースであっても、実施できないこともある、また不十分である	88	32.4%
必要なケースでは、全て実施している	151	55.5%
無回答	5	1.8%
合計	272	100%



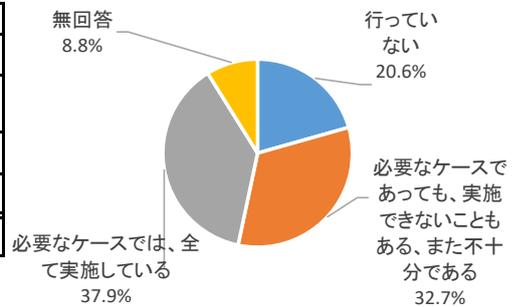
### 30. 「緩和ケアの必要な利用者」の多職種・多機関との連携や、情報共有・相談・協力要請について

	回答数	割合
行っていない	28	10.3%
必要なケースであっても、実施できないこともある、また不十分である	101	37.1%
必要なケースでは、全て実施している	135	49.6%
無回答	8	2.9%
合計	272	100%



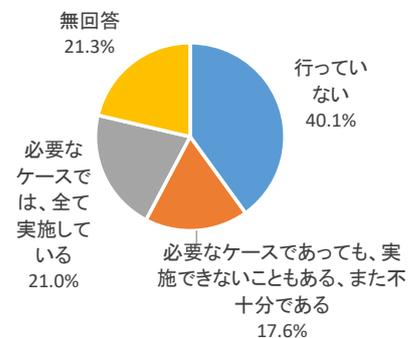
### 31. 「精神疾患のある利用者」の多職種・多機関との連携や、情報共有・相談・協力要請について

	回答数	割合
行っていない	56	20.6%
必要なケースであっても、実施できないこともある、また不十分である	89	32.7%
必要なケースでは、全て実施している	103	37.9%
無回答	24	8.8%
合計	272	100%



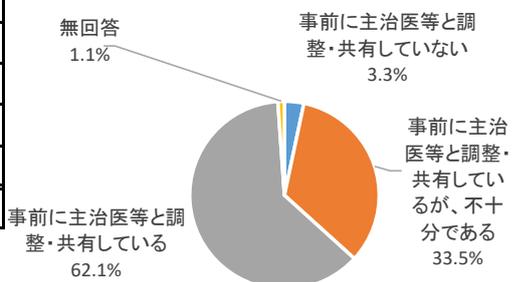
### 32. 「小児の利用者」の多職種・多機関との連携や、情報共有・相談・協力要請について

	回答数	割合
行っていない	109	40.1%
必要なケースであっても、実施できないこともある、また不十分である	48	17.6%
必要なケースでは、全て実施している	57	21.0%
無回答	58	21.3%
合計	272	100%



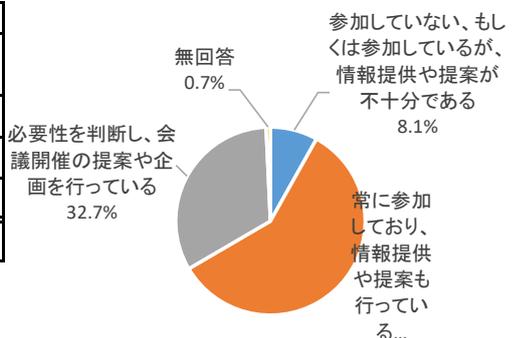
### 33. 入院の可能性がある利用者の意向を確認し、主治医等との対応方針等の調整・共有について

	回答数	割合
事前に主治医等と調整・共有していない	9	3.3%
事前に主治医等と調整・共有しているが、不十分である	91	33.5%
事前に主治医等と調整・共有している	169	62.1%
無回答	3	1.1%
合計	272	100%



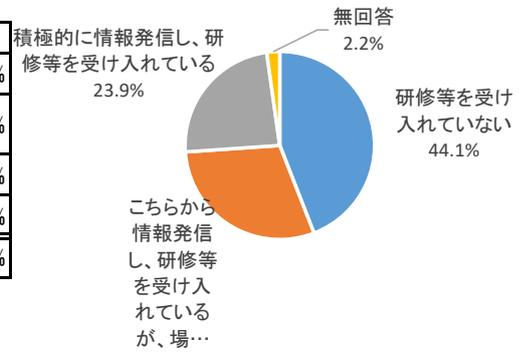
### 34. サービス担当者会議等への参加、情報提供について

	回答数	割合
参加していない、もしくは参加しているが、情報提供や提案が不十分である	22	8.1%
常に参加しており、情報提供や提案も行っている	159	58.5%
必要性を判断し、会議開催の提案や企画を行っている	89	32.7%
無回答	2	0.7%
合計	272	100%



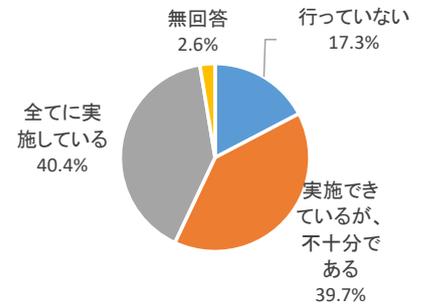
35. 関係機関などからの研修の受け入れについて

	回答数	割合
研修等を受け入れていない	120	44.1%
こちらから情報発信し、研修等を受け入れているが、場合によっては断ることもある	81	29.8%
積極的に情報発信し、研修等を受け入れている	65	23.9%
無回答	6	2.2%
合計	272	100%



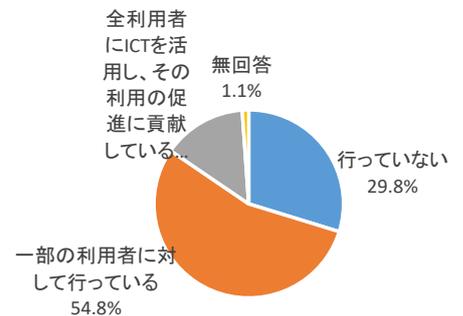
36. 「施設等入居中の利用者」の多職種との情報共有・相談・助言について

	回答数	割合
行っていない	47	17.3%
実施できているが、不十分である	108	39.7%
全てに実施している	110	40.4%
無回答	7	2.6%
合計	272	100%



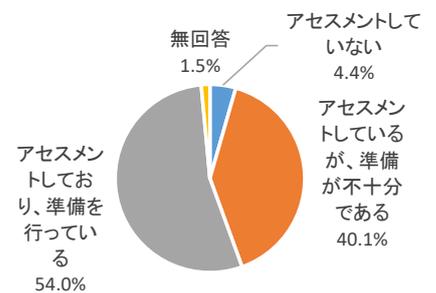
37. 多職種間でのICTを活用した情報共有について

	回答数	割合
行っていない	81	29.8%
一部の利用者に対して行っている	149	54.8%
全利用者にICTを活用し、その利用の促進に貢献している	39	14.3%
無回答	3	1.1%
合計	272	100%



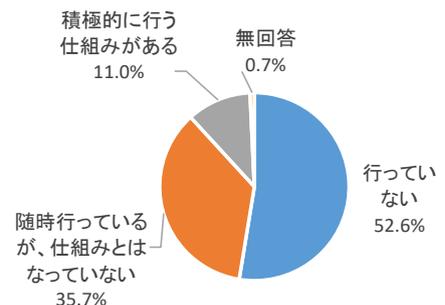
38. 退院・退所前における利用者の状況アセスメントと円滑な在宅生活への移行準備について

	回答数	割合
アセスメントしていない	12	4.4%
アセスメントしているが、準備が不十分である	109	40.1%
アセスメントしており、準備を行っている	147	54.0%
無回答	4	1.5%
合計	272	100%



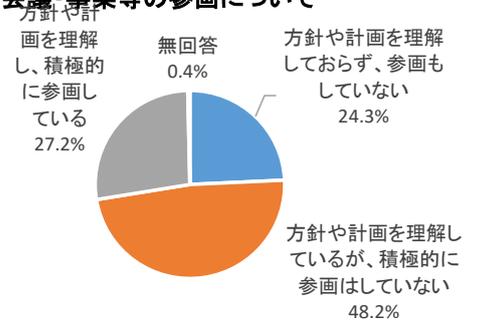
39. 地域住民に向けた事業所の情報発信や相談・対応について

	回答数	割合
行っていない	143	52.6%
随時行っているが、仕組みとはなっていない	97	35.7%
積極的に行う仕組みがある	30	11.0%
無回答	2	0.7%
合計	272	100%



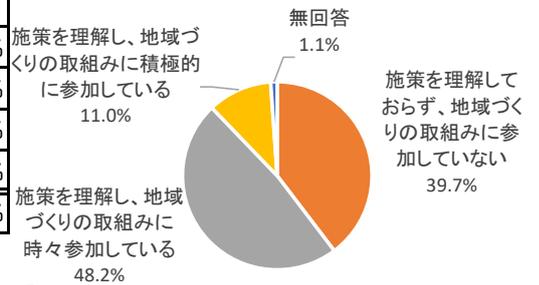
40. 自治体の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画等の理解や関連する会議・事業等の参画について

	回答数	割合
方針や計画を理解しておらず、参画もしていない	66	24.3%
方針や計画を理解しているが、積極的に参画はしていない	131	48.2%
方針や計画を理解し、積極的に参画している	74	27.2%
無回答	1	0.4%
合計	272	100%



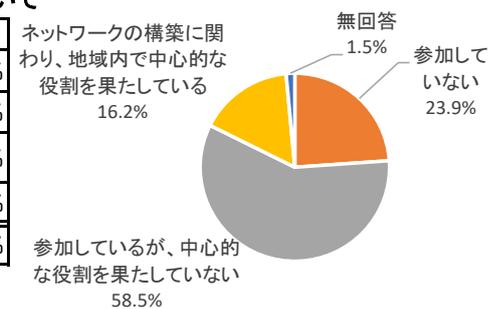
41. 地域における認知症への施策を理解し、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりへの取り組みについて

	回答数	割合
施策を理解しておらず、地域づくりの取組みに参加していない	108	39.7%
施策を理解し、地域づくりの取組みに時々参加している	131	48.2%
施策を理解し、地域づくりの取組みに積極的に参加している	30	11.0%
無回答	3	1.1%
合計	272	100%



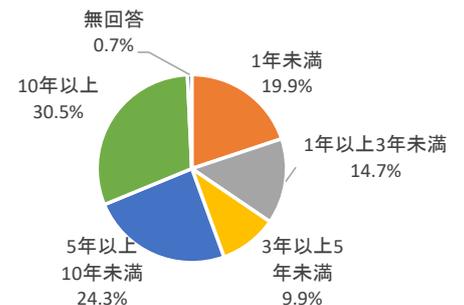
42. 地域における訪問看護事業所間のネットワークの構築への関わりについて

	回答数	割合
参加していない	65	23.9%
参加しているが、中心的な役割を果たしていない	159	58.5%
ネットワークの構築に関わり、地域内で中心的な役割を果たしている	44	16.2%
無回答	4	1.5%
合計	272	100%



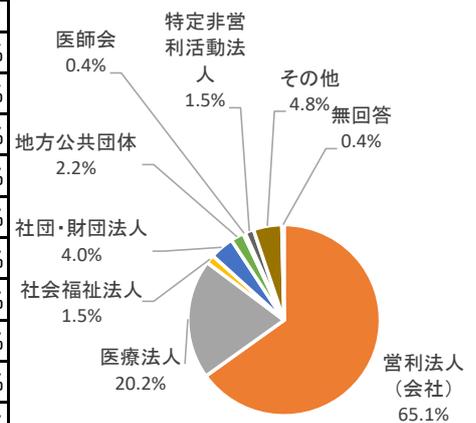
VI. 開設後2022年3月末日までの期間で該当するものに○をつけて下さい

	回答数	割合
1年未満	54	19.9%
1年以上3年未満	40	14.7%
3年以上5年未満	27	9.9%
5年以上10年未満	66	24.3%
10年以上	83	30.5%
無回答	2	0.7%
合計	272	65%



VII. 開設(経営)主体について該当するものに○をつけて下さい

	回答数	割合
営利法人(会社)	177	65.1%
医療法人	55	20.2%
社会福祉法人	4	1.5%
社団・財団法人	11	4.0%
地方公共団体	6	2.2%
医師会	1	0.4%
日赤・独立行政法人	0	0.0%
特定非営利活動法人	4	1.5%
その他	13	4.8%
無回答	1	0.4%
合計	272	100%

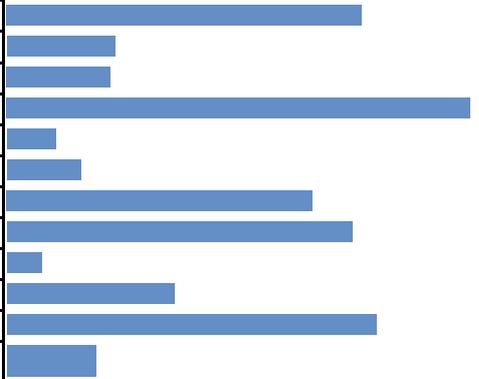


<その他>

- ・株式会社・合同会社・有料老人ホーム・社会医療法人
- ・厚生連(3)・医療生活協同組合・農業協同組合・市町村・学校法人

Ⅷ. 併設施設について該当するものに○をつけて下さい(複数回答可)

	回答数	割合
病院	72	26.5%
診療所	22	8.1%
介護保険施設	21	7.7%
居宅介護支援事業所	94	34.6%
看多機	10	3.7%
サ高住	15	5.5%
通所介護・通所リハビリ	62	22.8%
訪問介護	70	25.7%
サテライト	7	2.6%
その他	34	12.5%
無	75	27.6%
無回答	18	6.6%
回答対象者数	272	

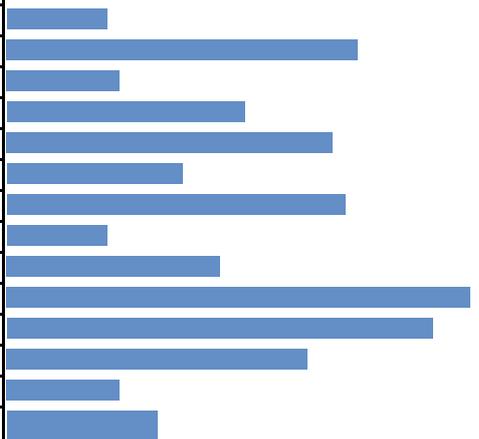


<その他>

- ・ 有料老人ホーム(8)・有料老人ホーム(住宅型)(9)・居宅有料・特定施設(一般型)
- ・ グループホーム(3)・デイケアグループワーク
- ・ ショートステイ、有料老人ホーム
- ・ 特養・ショートステイ・デイサービス・グループホーム
- ・ 小規模多機能・児童発達支援事業所・就労支援事業所・相談支援事業所
- ・ 包括支援センター(6)・地域包括訪問リハビリ
- ・ 調剤薬局・薬局
- ・ 認可外保育施設
- ・ 認知症対応型共同生活介護事業所
- ・ 福祉会館
- ・ 福祉用具・福祉用具貸与
- ・ 放課後デイ
- ・ 訪問入浴(2)
- ・ 介護タクシー・訪問マッサージ業
- ・ 作業所(2)

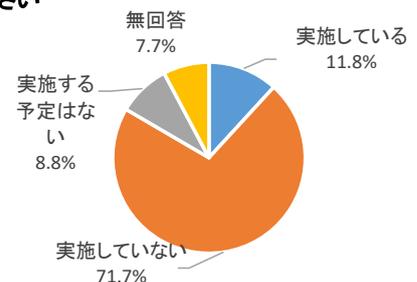
Ⅸ. 設置場所について該当する地区に○をつけて下さい

	回答数	割合
尾張北部	8	2.9%
尾張西部	28	10.3%
海部	9	3.3%
尾張東部	19	7.0%
知多半島	26	9.6%
西三河北部	14	5.1%
西三河南部西	27	9.9%
西三河南部東	8	2.9%
東三河	17	6.3%
名古屋東	37	13.6%
名古屋西	34	12.5%
名古屋南	24	8.8%
名古屋北	9	3.3%
無回答	12	4.4%
合計	272	100%



Ⅹ. 事業所の第三者評価について該当するものを選択し、機関名をご回答下さい

	回答数	割合
実施している	32	11.8%
実施していない	195	71.7%
実施する予定はない	24	8.8%
無回答	21	7.7%
合計	272	100%



<その他>

- ・ ストレスチェック
- ・ サークル・福寿草
- ・ サークル・福寿草H29
- ・ あすわひのきケアプランセンター
- ・ (株)第三者評価機構
- ・ 福祉評価推進事業団
- ・ 一般社団法人福祉評価推進事業団

- ・ ユーザー評価名古屋市
- ・ ユーザー評価(名介研) (2)
- ・ ユーザー評価 (2)
- ・ HEART TOHEART
- ・ 名古屋介護ネット
- ・ 介護サービス情報の公表・愛知県指定調査機関
- ・ 介護サービス情報公表制度
- ・ 情報公開サービスのみ
- ・ サービス公表

**Ⅺ. 加入している団体組織に選択し、名称を回答して下さい(複数回答可)**

	回答数	割合
愛知県看護協会	120	44.1%
愛知県訪問看護ステーション協議会	152	55.9%
日本訪問看護財団	78	28.7%
全国訪問看護事業協会	95	34.9%
その他の団体組織	11	4.0%
無回答	56	20.6%
合計	272	

**<その他>**

- ・ 稲沢市訪問看護ステーション会
- ・ 日本エンドオブライフケア学会
- ・ 市の訪問看護ステーション会
- ・ 日本看護協会
- ・ 海部医療圏訪問看護ステーション協議会
- ・ 豊田市介護サービス機関連絡協議会
- ・ 一宮訪問看護ステーション協議会(2)
- ・ 名東区訪問看護連絡会